

2023年1月19日に開催された2022年度第8回理事会（定例）の概要をお知らせします。

<決議事項>

●会長候補者（理事）の決定について（評議員会上程）

会長候補者の決定について、候補者1名の賛否について諮ったところ、承認可決された。

昨年11月29日に会長候補者選定委員会の設置と委員の選任が行われ、候補者の推薦期間を経て12月下旬に選定委員会として選定を行った。

委員会での議論に先立ち、コンプライアンス委員会で利益相反の確認も行われた。コンプライアンス委員会からは「利益相反は存在するが許容できる範囲内であり、会長就任については問題なし」との結論が報告され、12月16日の第6回臨時理事会での議決を行って選定委員会での議論に移った。

【選定の経緯について】

第1回（12月20日）

各委員から候補者に対する評価を行った。また議論のなかで候補者本人の意思を確認したうえで進めるべきとの声があがった。

第2回（12月22日）

候補者本人からの意思表明書の確認、第1回欠席委員の評価確認を行った。しっかりとした意思表明があったこと、スキルマップ17項目のうち9つと多くの専門性を持ち合わせていること等を踏まえ、選定委員会として満場一致で会長候補者に選出した。

本日理事会として承認されれば、明日の評議員懇談会で状況をお伝えし、2月7日の臨時評議員会でお諮りすることとなる。

●理事候補者選定委員会の設置及び委員の選任について

2月7日臨時評議員会で承認されれば、会長選定はひと段落し、理事候補者選定のプロセスに移る。

理事候補者選定委員は、役員選定規程第15条に従い、会長候補者選定委員会に次期会長内定者を加えた8名で構成される。現時点では次期会長内定者は決まっていないが、2月7日に承認されれば、会長内定者を加えた委員8名の選任を提案したい。また、委員会の設置は本日であるが、委員の選任及び任期の開始は2月7日の臨時評議員会の承認日からとする。

●役員等選定における利益相反確認書の変更について

変更の主だった点は以下のとおり。

- ・推薦時の確認書提出は二親等内とし、三親等分は理事に選定された際に追加で提出を依頼

する。

- ・①の所属する法人又は団体の項目については、学生時代のアルバイト等は記載不要とする。
- ・③の 10 万円以上受領の法人等については価格交渉の余地がない購入分は記載不要とする。
- ・記載における補足説明を末尾に加えた。記載時には参照いただく。

●定款の変更について（名誉総裁の設置について）

これまで名誉総裁に関する記載がなかったため、第 8 章に「名誉総裁」を追記する。また、その追記と、それに併せ以降の章、条の番号が繰り下がる。

本日承認されれば、2 月 7 日臨時評議員会で定款変更の議決、3 月 16 日理事会で名誉総裁推戴の議決という流れになる。改めて次回理事会で詳細について説明する。

●臨時評議員会の開催及び目的事項について

2022 年度臨時評議員会を次の日時に開催するものとし、その目的事項（議題）として、以下の決議事項 2 件とすることを提案する。

1. 日 時： 2023 年 2 月 7 日（火）15：00 ～ 17：00
2. 場 所： JVA を開催場所とする WEB 会議
3. 決議事項：
 - (1) 会長候補者（理事）内定について
 - (2) 定款の変更について（名誉総裁の設置）

●2023 年度 JVA 基本方針および事業計画について

公益財団法人 日本バレーボール協会
第 14 期・2023 年度事業計画
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）は、バレーボールの「つなぐ力」でファミリー一丸となって取り組み、将来的なスポーツ界を取り巻く環境の変化にも耐えられる組織基盤の強化と競技の普及・育成・強化を推し進め、バレーボールの価値を高めることでバレーボールファミリーの拡大に努めます。

JVA は今後の目指すべき方向として、「JAPAN バレーボール宣言」とクレド（行動規範）「JAPAN バレーボール WAY」を制定しました。バレーボールに携わるすべての人と同じ価値観を持って 2023 年度開催の「FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023」などの国際大会に向けて、選手を育成強化し、国内競技会や各種事業を積極的に推進しながら事業方針と重点実施項目について全力で取り組みます。

■事業方針【2023 年 4 月～2024 年 3 月】

- (1) 『JAPAN バレーボール宣言』の理念のもと、コロナ禍においても身近に「する・観

- る・支える」環境をつくり、バレーボールの発展を目指す。
- (2) 加盟団体の法人化を含め『組織基盤強化』を確立するための計画を策定する。

■重点実施項目【2023年4月～2024年3月】

- (1) 2024年パリオリンピック出場に向けて、男女インドア・ビーチ共に強化を継続する。特にインドアは、2023年に日本で開催するFIVBオリンピック予選を勝ち抜き、男女共にオリンピック出場権を全力で獲得する。
- (2) 都道府県バレーボール協会との連携を強化し、問題・課題を共有した上で法人化に向けた財政基盤施策を構築する。
- (3) ブランディングの再構築を実施し、バレーボールの価値向上を図る。
- (4) 事務局役職員の計画的、定期的な人事異動、ローテーションを実施し、縦割り意識の改善を図る。
- (5) 指導現場における暴力等根絶の実現に向け、体制強化と各種施策を推進する。
- (6) JVAメンバー制度（登録）の見直しを行い、未登録者層（生涯スポーツ・愛好者含む）の登録促進と登録者へのサービス向上を図り、JVAメンバー制度の質を向上させ、バレーボールファミリーの「つながり」を確立する。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、事業に関わる方々の安全・安心を確保した上で、日本代表戦や全国大会をはじめとする、JVA主催大会及び主管大会を開催し、バレーボール活動の維持に努める。

※なお、複数の理事からの意見を受けて、内調の一部を修正となる。また、大会日程など未定部分の更新も加えるため、最終版は3月頃に完成する。

<報告事項>

●2022年度第3四半期職務執行報告

【川合会長／代表理事】

- ① ジャパンビーチバレーボールツアー松山・ファイナル大阪大会 視察・表彰対応
- ② スポンサー・メディア各社へのご挨拶
- ③ 各種メディアとの意見交換
- ④ 各自治体・市長との面談
- ⑤ JOC加盟団体会長会議出席
- ⑥ フランス大使館との意見交換
- ⑦ トップリーグ機構感謝の夕べ出席

【村上事務局長／大会運営事業本部長】

- ① 第77回国民体育大会（栃木）競技会委員長として参加
- ② 事務局職員面談実施
- ③ NF総合支援センター補助金助成金等の研修会参加
- ④ JOCインテグリティオフィサー教育会議出席

- ⑤ 天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド開催
- ⑥ 会長候補者選定委員会出席
- ⑦ 第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 代表者会議・表彰式出席

【灰西業務執行理事／指導普及事業本部長・マーケティング事業開発本部長代行】

- ① 体罰・暴力等行為者の事実調査
- ② コンプライアンス制度の見直し
- ③ コンプライアンス委員会開催
- ④ 外部通報窓口連絡会議開催
- ⑤ 法人化プロジェクト会議（九州ブロック）開催
- ⑥ 指導者養成事業実施に向けた準備

【紀伊業務推進室長】

- ① エルダー会議／新入職員メンター個人面談実施
- ② HPT 研究所 所長面談
- ③ パ・リーグスポーツ転職フェア登壇
- ④ レビックグローバルとの打合せ
- ⑤ 経験者採用面接実施
- ⑥ 就業規則ワーキンググループ開催
- ⑦ 契約職員、業務委託契約者面談実施

【矢島ハイパフォーマンス事業本部長】

- ① 日本ホッケー協会副強化委員長との意見交換
- ② Vリーグ機構理事会参加
- ③ 各種合宿視察（全国中学生男女選抜、U-18・U-20 女子、男子大学生）
- ④ 各種大会視察（Vリーグ、インカレ男女、天皇杯皇后杯等）
- ⑤ ハイパフォーマンスディレクターフォーラム参加
- ⑥ Vリーグ機構コンプライアンス委員会出席
- ⑦ パリ五輪対策ミーティング参加

【川合庶ビーチバレーボール事業本部長】

- ① 各種ビーチ大会視察（ジャパンツアー松山・ファイナル大阪、横浜、川崎、浜松等）
- ② 来期ジャパンツアー会場視察
- ③ 学連ビーチバレーボール委員会出席
- ④ NPO 法人日本ビーチ文化振興協会面会
- ⑤ 鳥取県強化講習会視察・挨拶
- ⑥ 日本ハンドボール協会会長・副会長面会
- ⑦ JVA オフィシャルポイントシステム変更会議

●クレド（行動規範）制定のご報告

川合会長が就任して、それまで協会の不祥事が続いていたこともあり、社会的信用の回復という面で、企業が掲げるようなミッション、ビジョン、バリューを我々は見えていかなければならないのではないかと始めたものである。

ミッションは定款第3条に謳われており、ビジョンは2015年宣言を掲げていたが、ビジョンというよりは宣言というところでバレーボール界の中でもなかなか浸透していなかった。それをブラッシュアップして浸透を図る意図でリニューアルした。

その中でバリューと言う意味で、行動規範のようなものが掲げられていなかったため、行動規範として「JAPAN VOLLEYBALL WAY」として示した。加盟団体含めて訴求することで社会からの信頼を回復させたい。

●功労者Ⅱ表彰報告

○第13期（2022年度）第3回功労者Ⅱ表彰授賞者

- ・遠藤 健三 宮城県バレーボール協会 宮城県バレーボール協会副会長
- ・森 啓彰 静岡県バレーボール協会 (一社) 静岡県バレーボール協会参与

●裁定委員会に関する進捗について

昨年10月の理事会で、今年4月から裁定委員会を発足するという計画を出しており、今回理事会で裁定委員会規程を承認いただく予定であった。ただ関連する規程が多く、今回承認いただく状況に至っていない。次回3月あるいはもう少し先に延期させていただきたい。ただし裁定委員会が行おうとしていた業務である「事案発生からその事実確認、処分案作成まで」を第三者機関という位置付けで実施する予定で、その機能については並行で準備を進めている。仮に裁定委員会という形で設置ができなくても、関係者が調査するのではなく、専門家である弁護士の力を借りて調査から処分決定までを持っていきたい。最悪の場合でも、その部分の業務委託という形だとしても実行できるようにしたいと考えている。本日は先延ばしさせていただきたいお願いと現状の報告とさせていただく。登録や加盟団体の規定なども含めて見直さなければならない。

●コンプライアンス委員会処分決定報告

No.	・都道府県 ・チーム・役職	コンプライアンス 違反行為 (事実関係を認定した行為)	JVA 処分案 委員会決議日	JSP0 処分決定 指導者資格
1	香川県内小学生女子 クラブチーム総監督	総監督として管理監督を怠った行為	資格停止6か月処分 10月17日（第45回）	注意 コーチ1

2	香川県内小学生女子 クラブチーム監督	暴力・暴言行為	資格停止 12 か月処分 10月17日（第45回）	資格一時保留 ※認定前の為 コーチ1
3	岩手県内高等学校男子 バレーボール部監督	暴力・暴言行為	登録抹消処分 10月25日（第46回）	資格取消 コーチ2
4	長崎県内小学生女子 クラブチーム監督	暴力・暴言行為	登録抹消処分 12月15日（第48回）	資格取消 コーチ1
5	長崎県内小学生女子 クラブチーム監督	暴力・暴言行為	登録抹消処分 12月15日（第48回）	資格取消 コーチ1

●その他報告について

- ・高体連バレーボール専門部の田野理事より高校の MRS 登録数の推移について報告があった。

以上